



昨年暮れ「但馬での20年がこんな形で終わろうとは、夢にも思いませんでした」で始まるお便りをいただいた。但馬での生活への感謝、ご主人への敬愛、地域の人たちとの別れの無念さが文脈からうかがえる。

年の初めから暗い話で申し訳ないが、とても重要なことなのでみなさんも考えてほしい。昨年10月、新聞数社から報じられた八鹿病院外科医総辞表はその後、市長からの報道自粛勧告で中断したまま。それ以来、市民はなにも知らされないまま未だ蚊帳の外にある。

八鹿病院管理者が前任の池口氏(八鹿高校同窓会会長)からH25年4月、細川氏にバトンタッチされた。これまでの代々管理者は非医師であり診療内容に触れることはなかったが、細川氏は神戸大学医学部卒で医師資格がある。しかも兵庫県健康福祉部長寿の郷長、県費養成医師派遣担当責任者などを歴任し、井戸兵庫県知事から全権委任されている。その管理者更迭を求める病院職員の署名運動がおきた。問題解決に向け奔走されていた谷八鹿病院名誉院長が心労による脳出血発作を起こされ、外科医がいないと地域中核病院として機能しなくなるとして、なだれをうったように内科医も辞意を表明し始めている。地域医療の危機である。朝来医療センター新病院建設が春より始まる。人口が少なく高齢者がほとんどを占める南但馬地方で八鹿病院に加えて新たな病院建設はまさに税金の無駄遣い。兵庫県の医療計画構想の裏が見え隠れするが、地域の医者や患者さんが求める医療は救急救命医療ではない。地域で生活する高齢の患者さんが安心して入院できる病院、退院し自宅に戻ったら地域の診療所で切れ目なく継続診療を受けられる体制。そのような病⇒診⇒病⇒診・連携医療がこの地域に必要とされる。このまゝ八鹿病院の医師がいなくなると在宅療養中の高齢患者さんを今までのようには受け入れてもらえなくなる。地域の医療連携が壊れてしまうと困るのは私たち開業医であり高齢患者およびその家族である。

外科医総辞意に至ったそもそものきっかけはH26年6月、細川管理者がたかだか入職1年あまりの医師を院長

補佐に抜擢したこと。院長権限を与えられたその医師は、赤字経営改善のためと称し先輩に当たる病院医師に対し経営図書も指定し宿題を与えた。同年8月1日、八鹿病院勤務歴20年、宮野前院長を支えて但馬の外科診療・病診連携の中心を担ってきた外科部長に対して「外科が収入を減らしているのは、地域住民に信頼されていないからだ」と決めつけ部長職を解任、全職員の集まる前で糾弾した。これがハワハラと受け止められ外科チーム全体の辞意が固まった。

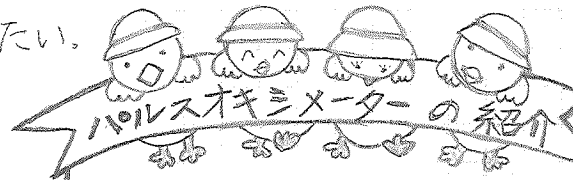
国や県市が問題を解決してくれなれどらうとか、そのうち良くなるだろう、誰かが何とかしてくれなれどらうと危機に直面すると人間たれしも樂觀する方向に流される。本当の危機が目前に迫ってからでは遅いことは、あの東北大津波や福島原発事故は教えてくれる。

40年前の八鹿高校事件を思い起こしてほしい。そのうち騒ぎは収まるだろうという樂觀論に乗り、「差別のねつ造」という手法で恐怖支配をした。批判を恐れたマスコミ、行政、司法を支配下に置き、暴力を「差別への糾弾」と言い換え、補助金と称して金品を私物化していった。

「蟻の一穴」は放置すべきでない。おかしいな、何か怪しいな、変だなと直感したら行動してほしい。行動している人に共感し、支持してほしい。

「共感」、「支持」、「行動」の3つの言葉を新年の初頭に心にきざみたい。

＝ 院長 ＝



テレホンサービス

☎ 通話無料 0120-979-451
(携帯電話からはご利用いただけません)

《1月のテーマ》

月曜日 子宮頸がんの予防ワクチン

火曜日 禁煙のススメ

水曜日 傷の正しい治し方「湿潤療法」

木曜日 頭を打った時

金土日 パーキンソン病の最近の話題

《2月のテーマ》

月曜日 市販の点眼薬の正しい使い方

火曜日 子どもが「お腹が痛い」という時

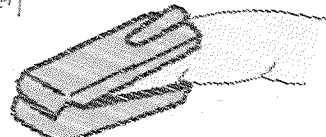
水曜日 家庭血圧測定的重要性

木曜日 前立腺がんを早期発見しましょう

金土日 薬局で薬を買う時に気をつけたいこと
(休日は前日の放送が流れます)

http://www.hhk.jp/(過去の放送分も掲載しています)

「指にはさんで何をみているのですか？」看護師の間診時よく質問があります。これは、パルスオキシメーターという器械を指にはさんで血液中にどの程度酸素が含まれているのかを調べています。医学的には、経皮的動脈血酸素飽和度(SPO₂)と表現し、%で表示します。正常値は96%以上で数値が低い時は呼吸器疾患等の疑いがあり、在宅酸素療法や睡眠時無呼吸症候群の検査・診断にも有効です。





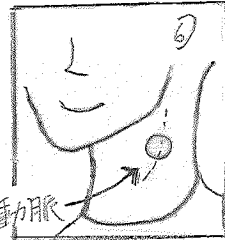
脈拍を測ってみませんか？



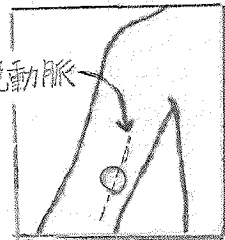
私達の心臓は、安静時1分間におよそ50~100回の収縮と拡張を繰り返して、血液を全身にくまなく送り届けています。この心臓の拍動が身体の表面の動脈で触れたものを脈拍といいます。脈拍を測ることで、心臓や血管の状態に関しておおよその推測ができ、自分自身の健康状態を知るのに重要です。

◎ 脈拍の測り方

脈拍を測る部位で最も適しているのが、手首の関節の少し下辺り。親指の付け根部分に位置する「桡骨(とうこつ)動脈」です。その他、上腕内側の肘が折れ曲がる1~2cm上辺りの「上腕動脈」、下顎の下(首)にある「頸動脈」でも測定可能です。

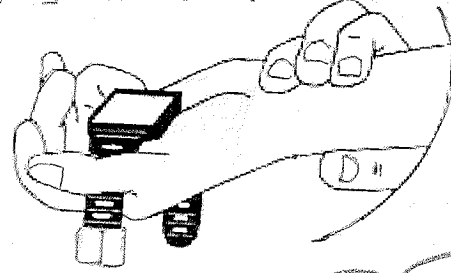


頸動脈



上腕動脈

＜桡骨動脈での測定方法＞
人差し指、中指、薬指の3本を脈に当て、中指を軽く浮かすのがコツ。



◎ 何を測ればよいのでしょうか

※ 数・・・安静時1分間に何回拍動あるのか測ります。

(成人の正常値、平均値は1分間に60~80回の範囲です。乳幼児の正常値はおよそ100回以上ありますが、成長及び加齢と共に減少します。)

毎分 100回以上 → 「頻脈」
毎分 60回以下 → 「徐脈」
といい、不整脈の診断がつきますが、必ずしも心臓に異常が生じていることが原因とは言いきれません。

※ 強さ弱さ・・・指先で感じる脈拍が、強かったり弱かったりとは乱れていませんか。

※ リズム・・・規則正しく拍動し、途中止まったり乱れることはありませんか。

※ 他・・・ストレス・緊張・睡眠不足・入浴・食事・発熱等で脈拍数は変動します。



死に至る不整脈・心房細動について

良性の不整脈と致死的心臓病をおこす悪性の不整脈(心房細動)は、脈拍をみるだけではわかりません。不整脈に気づいたら、すぐに心電図検査をうけましょう。

編集後記

激動の2014年が過ぎ、新年を迎えました。今年には阪神淡路大震災から20年目…。森医院は9月で丸30年となります。忘れてはならない歴史は語り継ぎ、新しいチャレンジには目をそらさず、強い気持ちを持って職員一同、今年も頑張ります。"たんぽぽ"いかがでしたか？ 次回は7月発行予定です。御意見、御感想お待ちしております。

職員紹介

ナース編

しまだ みきこ
島田美貴子 さんを紹介します。

昨年7月より職員の一員になりました。経験豊富なベテランナースです。いつもほほえんで 颯爽と歩く姿は目をひきます。小学生ではじめてバスケットボールは今でも心の支えになっているそうです。

気軽に声をかけてあげて下さい。

どうぞよろしく
お願いします。



お知らせ

リハビリ室のウォーターベッドが新しくなりました。今まで以上に水圧が強くなり、心地よい刺激が身体と心を癒してくれます。

レントゲン装置がリニューアル!! ベッドの高さ調節が可能となり、昇降がしやくなりました。立位でのレントゲンも安定した姿勢で撮影できるようになりました。